

1 事業の成果

以下の事業を実施することで、札幌市内の学校教職員や社会人との交流・相互理解を深めることができた。
また、市立高等学校の学校間連携事業の運営支援、取材を通して、外部への普及へ寄与することができた。
さらに、外部人材を派遣することにより、当該学校の教育推進の支援につなげることができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額(単位：千円)
① 学校教員等対象のセミナー開催等の運営事業	【「猫の手」カフェ】主催・実施 ◆「第 11 回 猫の手カフェ」 未来の学校・未来の教育を考える リレートーク 『楽しい学び・楽しい学校とは』をテーマに、「幼稚園教育」と「義務教育学校」に焦点を当て、2 名のゲストスピーカーから話題を提供していただいた。その後、参加者によるグループ交流会で意見交換を行い、テーマを深めた。 ◆「第 12 回 猫の手カフェ」 第 11 回に引き続いての リレートーク。 『学校教育の未来、教職の魅力を語ろう！』をテーマに 3 名のゲストスピーカーによるパネルディスカッション形式で進めた。「近年の学校教育の変化」「増加を続ける不登校」「教職の担い手不足」を取り上げ、会場参加者とも幅広く意見交流を行った。 ◆「第 13 回 猫の手カフェ」 第 12 回に引き続いての リレートーク。 『学校と社会の協働』～ともに創る学校教育をめざして～をテーマに 3 名のゲストスピーカーが話題提供した。	(A) 2024 年 7 月 27 日 (B) 内田洋行 ユビキタス協創広場 (C) 6 名 (A) 2024 年 11 月 23 日 (B) エルプラザ (C) 7 名 (A) 2024 年 3 月 23 日 (B) 内田洋行 ユビキタス協創広場 (C) 7 名	(D) 市内学校教職員、社会人 (E) 16 名 (D) 市内学校教職員、社会人 (E) 25 名 (D) 市内学校教職員、社会人、保護者、学生 (E) 16 名	円

	キャリア教育の具体的例、スポーツを通じた学校との協働など、幅広い視点からのやり取りを展開した。第二部では参加者が座談会形式で意見交流を行った。 ◆「第 20 回 猫の手カフェ ～語って良い友～」 前札幌市立幼稚園園長をゲストに「楽しい学びとは？」を中心テーマにお話を伺った。最初に養護学校を目指した経緯、そこから幼稚園教諭となり周りに育てられた経験、そこから実践を大切に、笑顔を大切にする教育を深めていった経緯が豊富な資料を使って語られた。 ◆「第 21 回 猫の手カフェ ～語って良い友～」 開校 2 年目の公立の義務教育学校の現職校長をゲストに福移学園にてインタビュー形式でカフェを実施した。今なぜ、「小中一貫した教育」が必要なのか、教育内容の実際、保育園や幼稚園、地域との連携など、大変新鮮な話題が提供された。 ◆「第 22 回 猫の手カフェ ～語って良い友～」 開成中等教育学校を訪問し、副校長にインタビュー形式でカフェを実施。「国際バカロレア (IB)」とは何か、その教育の実際や、開校 9 年目の学校の課題、学校の展望など、なかなか難しい話題を大変わかりやすく話していただいた。	(A) 2024 年 5 月 25 日 (B) エルプラザ (C) 3 名 (A) 2024 年 7 月 8 日 (B) 札幌市立福移学園 (C) 2 名 (A) 2024 年 7 月 1 日 (B) 開成中等教育学校 (C) 2 名	(D) 市内学校 教職員、 社会人 (E) 不特定 多数 (D) 市内学校 教職員、 社会人 (E) 不特定 多数 (D) 市内学校 教職員、 社会人 (E) 不特定 多数	
--	--	--	---	--

	◆「第 23 回 猫の手カフェ ～語って良い友～」 市立高校の現職校長をゲストにインタビュー形式で実施。生い立ちから現在に至る興味深い話。教育の主語は「生徒」、教員は学習者を支える「伴走者」という信念のもと、生徒に身につけてほしい力とは何か、とても深い話題が提供された。 ◆「第 24 回 猫の手カフェ ～語って良い友～」 公立中学校の教員とともにキャリア教育のプログラムを作成し、授業を行っている NPO 法人の方をゲストに、どのように学校と外部が協働を深めていけるか、課題は何か、豊富な経験に基づいた話題が提供された。 ◆「第 25 回 猫の手カフェ ～語って良い友～」 外部の人材を積極的に生かしながらキャリア教育の深化の可能性や課題を追究している現職の札幌市立中学校教諭がゲスト。キャリア教育の展開の中で、子どもたちの主体性をいかに確立するか、具体性に富んだ話題が提供された。 【N 活】札幌市市民活動サポート センター主催 ◆『学校編』2024 「NPO×学校の連携・協働に 向けた基礎ゼミ」 ◇第 1 回 サポート団体として協力・参加 ◇第 2 回 サポート団体として協力・参加	(A) 2024 年 9 月 28 日 (B) エルプラザ (C) 2 名 (A) 2024 年 11 月 5 日 (B) エルプラザ (C) 2 名 (A) 2025 年 1 月 19 日 (B) エルプラザ (C) 2 名 (A) 2024 年 12 月 8 日 (B) エルプラザ (C) 3 名 (A) 2024 年 12 月 8 日 (B) エルプラザ (C) 3 名	(D) 市内学校 教職員、 社会人 (E) 不特定 多数 (D) 市内学校 教職員、 社会人 (E) 不特定 多数 (D) 市内学校 教職員、 社会人 (E) 不特定 多数 (D) 社会人 (E) 不特定 多数 (D) 社会人 (E) 不特定 多数	円
--	--	--	---	----------

② 学校間連携事業・学校単独開催のプログラムの外部への普及活動等の普及啓発事業	◆『N 活学校編 NPO の物語力×キャリア教育の可能性を考えよう』 サポート団体として協力・参加	(A) 2025 年 1 月 19 日 (B) エルプラザ (C) 2 名	(D) 社会人 (E) 不特定多数	
	<学校間連携・キャリア教育等支援> ◆「市立高校 プレゼンテーション大会」 運営支援（講評者）	(A) 2025 年 3 月 9 日 (B) 札幌文化芸術 交流センター (C) 3 名	(D) 市内学校 高校生 教職員、 社会人 (E) 不特定多数	

（２）その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	事業費の金額(単位：千円)
物品販売事業	実施しなかった		

[作成上の注意事項]

- 2 は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載してください。
- 2 (2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載してください。